

## 平成29年度全国公共牧場運営改善研修会開催要領

### 1 趣 旨

夏期預託等を通じて畜産振興に大きく貢献してきた公共牧場は、畜産農家の減少や市町村合併等の影響に加えて、一部の公共牧場においては、草地や家畜管理技術の習熟不足や牧場の運営技術への理解が不十分であること等により、公共牧場が本来担う役割、機能が十分に発揮されていないため、預託頭数の減少による経営不振が一因となって廃止又は活動を中止した公共牧場が見受けられます。

一方、適正な草地・家畜の管理技術を徹底することにより、公共牧場本来の機能が充実・強化されて、生産者からの預託希望が著しく増加し預託の受入制限を行っている公共牧場も見受けられます。

現在、肉用子牛及び酪農後継牛の価格高騰を受け、公共牧場の利用による繁殖雌牛の増頭、酪農生産基盤の強化に対する期待が高まっているとともに、輸入飼料の価格上昇や将来的な入手困難が予測される状況下において、地域の飼料基盤としての公共牧場の重要性は一層高まっており、今後は、公共牧場が健全な経営のもとで利用農家が期待する役割・機能を発揮していくことが重要となっております。

このようなことから、公共牧場の機能強化や経営改善を図るため、放牧技術の改善、経営・管理技術の改善、役職員の意識改革に加えて公共牧場の新たな活用方法の4点に焦点を当て、これらの問題解決に詳しい講師による講演、研修参加者が関わる各牧場が抱える諸問題解決のためのディスカッションを通じて、生産性向上技術及びコスト低減並びに公共牧場の新たな活用方法等経営改善に関する研修会を開催します。

### 2 主 催

一般社団法人日本草地畜産種子協会

### 3 開催日時等

平成30年3月8日(木) 13時00分～17時30分

3月9日(金) 9時00分～12時00分

### 4 場 所

TKP神田駅前ビジネスセンター 会議室

住所：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目2-1 三井住友銀行神田駅前ビル5F

電話：03-5298-2680

アクセス：別添案内図参照

### 5 参集範囲

全国の公共牧場管理者・職員、管理運営受託組織の長・職員、農協役職員、都道府県及び市町村職員、地方農政局等

### 6 日 程

1日目(3月8日(木))

(1) 開 会 13:00

(2) 挨 拶 13:00～13:10(10分)

### (3) 座学研修

#### ア 公共牧場の経営改善について

- ① 公共牧場をムダなく使う集約的な放牧管理技術について 13:10～14:10(60分)  
一般社団法人 日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守
- ② 公共牧場の運営改善技術について 14:10～15:10(60分)  
浦幌町模範牧場指定管理者 (株) 希興 代表取締役 三宅 英彰  
- 休憩 -
- ③ 公共牧場を核とした地域活性化について 15:20～16:20(60分)  
～ 意識改革による牧場の経営改善～  
一般社団法人 葛巻町畜産開発公社顧問 中村 哲雄

#### イ 公共牧場の新たな活用方法について

- 公共牧場の新たな活用方法に関する報告書(中間報告)について 16:20～17:10(50分)  
公共牧場の新たな活用方法に関する検討会委員長 梨木 守

### (4) その他

- 平成30年度公共牧場に関する主な行政的支援(仮題) 17:10～17:30(20分)  
農林水産省生産局畜産部飼料課草地整備計画調整班

### 2日目(3月9日(木))

#### (1) グループディスカッション及び総合討議

テーマ 「公共牧場活性化のために取り組むべきこと」

- ① グループディスカッション 9:10～11:30(140分)
- ② 総合討議 11:30～12:00(30分)

※ グループディスカッションの参加者から提出頂きました別紙様式「平成29年度全国公共牧場運営改善研修会資料」に基づきグループ毎に担当講師と討論を行います。

7 研修会参加料：無料(ただし、参加に伴う旅費等の経費は各自ご負担願います。また、宿泊の手配につきましては各自でお願いいたします)

#### 8 研修会参加申込みの方法

- 別紙の「参加申込書」により、平成30年2月22日(木)までに、一般社団法人 日本草地畜産種子協会まで、FAXまたはE-mailで申し込んで下さい。
- 参加予定枠 60名程度
- グループディスカッション(3月9日(金))の参加者のうち、公共牧場管理運営者の方については、牧場の概要及び現状の問題点と改善方向について、別紙様式(平成29年度全国公共牧場運営改善研修会資料)に取りまとめ、参加申込書に添付して頂くようお願いいたします。

1、概要

- (1) 牧場名
- (2) 設置者（所有者）
- (3) 管理者
- (4) 経営形態（例：乳用育成牛夏期受託育成及び乳用子牛周年受託育成等）
- (5) 受託頭数と受託可能頭数（例：夏期受託〇頭（受託可能頭数〇頭）、冬期受託〇頭（受託可能頭数〇頭）
- (6) 経営面積（例：牧草放牧地〇ha、牧草採草地〇ha、牧草採草放牧兼用地〇ha、野草放牧地〇ha 森林〇ha、施設用地〇ha、計〇ha）
- (7) 従事役職員（例：役員〇人（うち常勤〇人）、職員：夏期〇人（うち常勤〇人、非常勤〇人）、冬期〇人（うち常勤〇人、非常勤〇人）
- (8) その他（地域の畜産概況、預託の受け入れ範囲、公共牧場として取り組んでいる事項等について記載）

2、現状の問題点と改善方向

(1) 現状の問題点

- ①
- ②
- ・

（現状の問題点を箇条書きで記述して下さい。）

(2) 問題点の改善方向

- ①
- ②
- ・

（現在取り組んでいる問題点の改善策を記述して下さい。）